

日本学術会議 科学者委員会 学術の大型研究計画検討分科会（第2回）  
議事要旨

日時 2015年6月3日（水）13:00-15:00  
場所 日本学術会議 5-A（1）会議室（5階）  
出席者 相原委員長、永井副委員長、長野幹事、苧阪幹事、岩本委員、宮崎委員、嶋田委員、柴山委員、高原委員（スカイプ参加）、  
陪席 日本学術会議事務局（盛田参事官、松宮参事官補佐、辻上席学術調査員、大西専門職、熊谷参事官付、鈴木参事官付）

配布資料

- 資料1 前回議事要旨（案）
- 資料2 第23期「学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン」策定にあたってのアンケート（私案）
- 資料3 学術研究の大型プロジェクトの推進に関する基本構想  
ロードマップの策定—ロードマップ2014—
- 参考1 分科会委員名簿

議題

- 1) 前回議事要旨（案）の確認
- 2) 第23期「学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン」策定にあたってのアンケートについて

アンケート（案）については以下の視点を確認した。

- ・ 大型研究計画の策定にあたって、日本学術会議23期会員および22期大型研究計画提案者（不採用になった計画の応募者も含む）を対象にアンケートを行う。
- ・ マスタープラン2014をベースとして、アップデートした提案を公募して、マスタープラン2017の策定を行う。
- ・ 学術大型研究の意義について問う。  
大型施設計画の予算であるのか、それとも大型研究予算であるのかなど。
- ・ 予算規模の設定は、適切かどうかを問う。
- ・ 融合領域の設定に関して、あらかじめテーマを公募するかどうかを問う。
- ・ マスタープラン2010以後のものに、予算獲得状況、準備状況、計画進行状況の問い合わせを行う。
- ・ 学術研究領域の制定について、必要か、適切かどうかに関して問う。
- ・ 提案者の選定に関して、2014と同様で良いかどうかを問う。
- ・ アンケートの受付期限は、8月末日とする。

- 3) その他

- ・ マスタープランに関して、省庁を超えて広報する必要性について議論された。
- ・ 科学技術・学術審議会 学術分科会 研究環境基盤部会 学術研究の大型プロジェクトに関する作業部会の委員から要請があり、次回以降、上記作業部会の委員との意見交換を行うこととした。

以上